

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2019年12月)

### 【内政】

- 19日、国民議会は、2020年の国家予算案1兆9,869億 CFA フラン(約4,000億円相当)を承認した。2019年予算は1兆8,775億 CFA フランであり、前年比で5,8%増となる。(20日、La Nation 紙)

### 【外政】

- 21日、タロン大統領は、ナイジェリア・アブジャで開催された第56回 ECOWAS 首脳会合に出席した。同会合の共同声明において、ECOWAS 圏内での共通通貨 ECO の導入が公表された。(23日、La Nation 紙)

### 【治安】

- 29日未明、アボメ・カラヴィ市ココゴジ地区において、陸軍兵士が発砲により殺害される事件が発生した。翌30日、容疑者はゴドメ地区において共和国警察により逮捕された。(31日、Le Matinal 紙)

### 【経済】

- 7日、エホメ・インフラ運輸相は、国際民間航空機関(ICAO)の75周年記念式典において、ベナンの航空会社を設立することを公表した。会社名はエール・ベナン(Air Bénin)となる予定。(9日、Le Matinal 紙)
- UEMOA による12月の通貨政策レポートによれば、ベナンの2019年第3四半期の GDP 成長率は7.6%であった。(同第1四半期7.3%、同第2四半期7.6%、前年同期7.0%)(31日、L'Économiste 紙)

### 【文化・その他】

- 15日、フランスの فرانク・リステール文化相はコヌを訪問し、ベナンの文化財返還に向けて協議を行った。翌16日、同相は記者会見を開き、ダオメ王国時代の美術品26点を返還することを公表した。(16日、17日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

### 【内政】

- 9日、4月の国民議会議員選挙時に与野党紛争の当事者であった野党 USL 党と RE 党は、仮政党認可書を受け取った。(10日、Le Matinal 紙)

- ・ 19日, 国民議会は, 2020年の国家予算案1兆9,869億 CFA フラン(約4,000億円相当)を承認した。2019年予算は1兆8,775億 CFA フランであり, 前年比で5,8%増となる。(20日, La Nation 紙)
- ・ 24日, ビオ・チャネ計画・開発担当相は, ベナン国営テレビに出演し, 政府行動計画(PAG)に定められている各分野の進捗報告及び2021年までの展望について見通しを示した。(26日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, タロン大統領は国民議会において一般教書演説を行い, 政府が進める「政府行動計画(PAG)」の進捗状況を語った。(30日, La Nation 紙)
- ・ ヤイ・ボニ前大統領の近親者によれば, 11月20日の一時帰国の後再出国していた同前大統領は, 29日新年を祝うためコトヌ市に戻ってきたとのことである。(30日, L'Événement Précis 紙)

#### 【外政】

- ・ 2日, タロン大統領は, ダカールで UEMOA 首脳会合と同時に開催された会議「アフリカにおける持続的発展と許容可能な債務」に出席した。(4日, L'Économiste 紙)
- ・ 5日, タロン大統領は, 4か国(カナダ, コンゴ(民), インドネシア, チェコ)の新任大使の信任状を受け取った。(6日, La Nation 紙)
- ・ 9日, EU とのパートナーシップ協定に関する交渉のため, EU・ACP 諸国首脳会合がナイロビで開催され, ベナンからは3名の閣僚(アベノンシ外務・協力相, ワダニ経済・財務相, アスマン産業・商業相)が出席した。(10日, La Nation 紙)
- ・ 17日, シャオ・ホン中国人民政治協商会議副主席はコトヌを訪れ, タロン大統領及びヴラヴォヌ国民議会議長と両国の関係強化について協議した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 20日, ヴラヴォヌ国民議会議長は, エフドキモフ駐ベナン・ロシア大使と会談し, 同議長の2020年のモスクワ訪問, 両国の議員団の交流, 第二次世界大戦の戦勝祝賀式典への参加等について議論した。(23日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, タロン大統領は, ナイジェリア・アブジャで開催された第56回 ECOWAS 首脳会合に出席した。同会合の共同声明において, ECOWAS 圏内での共通通貨 ECO の導入が公表された。(23日, La Nation 紙)

#### 【治安】

- ・ 6日, 11月2日にコトヌ港沖で襲撃に遭い, 誘拐されたフィリピン人船長及び乗組員9名は, 35日間の拘束の後ナイジェリアにて解放された。9名は医療検査を受けた後, マニラに到着した。(11日, Le Matinal 紙)
- ・ 2019年後半における, 違法な動物取引(象牙, 毛皮等)の発生件数は, 65件であった。(20日, Le Matinal 紙)

- ・ 21日, 経済犯罪・テロ取締裁判所(CRIET)は, 小切手の盗難及び税控除書類偽造の罪でベナン系企業幹部14名に対し3~15年の禁固刑を宣告した。(23日, Le Matinal 紙)
- ・ 29日未明, アボメ・カラヴィ市ココゴジ地区において, 陸軍兵士が発砲により殺害される事件が発生した。翌30日, 容疑者はゴドメ地区において共和国警察により逮捕された。(31日, Le Matinal 紙)

## 【経済】

- ・ 2日, 米国大使館は, 外務・協力相との間で, 実施事業の評価を含む2国間関係を振り返る政策協議を実施した。同会議にはモホニー駐ベナン大使とアベノンシ外務・協力相が出席した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 3日に発表された国連貿易開発会議(UNCTAD)の電子商取引に関する調査によれば, ベナンは調査対象となった152か国中138位であり, 前年比で1つ順位を落とした。UEMOA では, セネガル, コートジボワール, トーゴ, マリに次ぐ5位であった。(12日, L'Économiste 紙)
- ・ 6日, 日本国大使館主催で, 日本の支援による事業実施地域を視察するプレスツアーが開催された。メディア一行は, ウィダ市の紛争後地域における地雷・不発弾処理訓練センター(CPADD), アボメ・カラヴィ市のアランティック県小学校建設計画工事現場, 及びコトヌ市のコトヌ零細漁港, 国家消防隊を視察した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 日本での留学・研修経験者から成る同窓会2A2BJ は, アラダ教員養成学校においてトマトの加工及び魚の品質管理に関する研修を実施した。(10日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 7日, エホメ・インフラ運輸相は, 国際民間航空機関(ICAO)の75周年記念式典において, ベナンの航空会社を設立することを公表した。会社名はエール・ベナン(Air Bénin)となる予定。(9日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, ドスウイ農業・畜産・漁業相は, 3日間にわたる「綿とパーム油に関する科学の日」の開始を宣言した。両製品の活性化を目指し, 農業従事者及び政策決定者は科学的知見に基づいて議論する。(11日, La Nation 紙)
- ・ 12日, トナト生活環境・持続的開発相は, コトヌ市内の9つの市場を近代化する建設工事の着工式に出席した。同工事は, 320億 CFA フランに及ぶ予定である。(13日, La Nation 紙)
- ・ 12日, 世界銀行は, 開発政策を支援するため, ベナンに対し1億米ドルの貸付を承認した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 16日, 税務総局は政府が進める納税に関する電子サービス普及のため, 企業経営者に対し, 電子手続きのプラットフォームに関する説明会を実施した。(18日, L'Économiste 紙)
- ・ 17日, 投資・輸出促進局(APIEX)は, 政府が進めるビジネス環境の改善に関する改革について投資家と意見交換をするため, 「Doing Business の日」を開始した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 24日, ベナン全土への光ファイバー網の敷設を目指す政府は, 同事業実施に不足している人材を育成すべく, 専門学校を開校することを閣議決定した。(26日, La Nation 紙)

- ・ UEMOA による12月の月例通貨政策報告によれば、ベナンの2019年第3四半期の GDP 成長率は、7.6%であった。(同第1四半期7.3%, 同第2四半期7.6%, 前年同期7.0%)(31日, L'Économiste 紙)

#### 【文化・その他】

- ・ 9日 UNDP が公表した人間開発指数(HDI)のランキングにおいて、ベナンは全世界で163位、アフリカ諸国中30位に位置づけられた。(13日, L'Économiste 紙)
- ・ 13日, 国連人口基金とベナン政府は、サヘル地域における女性の自立化と人口管理計画の実施に係る技術支援に関し、原則合意を締結した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 13-14日, コトヌ市芸術・スポーツホールにて、空手大使杯が開催された。(16日, La Nation 紙)
- ・ 15日, フランスのフランク・リステール文化相はコトヌを訪問し、ベナンの文化財返還に向けて協議を行った。翌16日, 同相は記者会見を開き、ダオメ王国時代の美術品26点を返還することを公表した。(16日, 17日, La Nation 紙)
- ・ 21日, アフリカ民族主義を唱える活動家ケミ・セバ(フランス・ベナン二重国籍)は、ブルキナファソにおいて同国大統領を侮辱した罪で2か月の禁固刑及び20万 CFA フランの罰金刑に処された。(26日, Le Matinal 紙)
- ・ 24日, カップ中等・技術教育・職業訓練相は、政府によって8, 9月に実施された教員評価に対し異議を唱えボイコットした教員192名を公職から追放することを決定した。(26日, Le Matinal 紙)
- ・ 24日, 中国大使館は、観光・文化・芸術省に対し、電子ピアノ, ギター, ドラム等5千万 CFA フラン相当の楽器を提供した。(26日, La Nation 紙)
- ・ 26日, 政府は、農作物に損害を与える等, 農家との諍いを引き起こしている国境を越える移牧を禁止する決定を行った。(30日, L'Économiste 紙)
- ・ 27日, 観光・文化・芸術省主催の2019年文学5部門(長編小説, 短編小説, 詩, 演劇, 報道)の最優秀賞授賞式において、短編小説, 演劇, 報道の3分野での受賞が行われた。長編小説, 詩の分野の該当者はなかった。(30日, La Nation 紙)
- ・ 30日, 中国大使館は、高等教育・科学研究省と共同で、45名の学生に学業優秀賞を授与した。最優秀賞受賞者には賞金50万 CFA フラン, 優秀賞には30万 CFA フラン, 第3位には20万 CFA フランが贈られる。(1月2日, La Nation 紙)
- ・ 30日, ペン・ジンタオ駐ベナン中国大使は、大使館において記者会見を開き、中・ベナン関係, ベナン・ニジェール間のパイプライン建設事業, 米の供与, 香港及び新疆ウイグル地区での問題について語った。(1月3日, La Nation 紙)